

2011

西いぶり広域連合議会会議録

第1回定例会

平成23年2月18日開会

平成23年2月18日閉会

西いぶり広域連合議会

平成23年第1回西いぶり広域連合議会定例会審議日程

(会期1日)

月 日	曜	会議区分	会 議 時 間	会 議 内 容
2. 18	金	本 会 議	14:00~14:30	開会、議席の指定、会期の決定、議案 説明、質疑・一般質問、議案の議決、 閉会

平成23年第1回西いぶり広域連合議会定例会議決結果表

会期 平成23年2月18日（金）（1日）

番 号	件 名	提 出 年 月 日	付託委員会	議 決 結 果
			付託年月日	議決年月日
議案第 1 号	平成22年度西いぶり広域連合一般会計 補正予算（第2号）	23. 2. 18		原 案 可 決
				23. 2. 18
議案第 2 号	平成23年度西いぶり広域連合一般会計 予算	23. 2. 18		原 案 可 決
				23. 2. 18
その他会議に 付した事件	議席の指定			指 定
				23. 2. 18
	会期の決定			決 定
				23. 2. 18

目 次

第1号（平成23年2月18日）

議事日程	1
会議に付した事件	1
出席議員	1
欠席議員	1
説明員	1
事務局出席職員	1
開会宣告	1
諸般の報告	2
○我妻議長	2
○高橋事務局長	2
新議員自己紹介	2
○村井 洋一議員	2
日程第1 議席の指定	2
日程第2 会議録署名議員の指名（佐藤 潤議員、大友 勇議員）	3
日程第3 会期の決定（2月18日 1日）	3
日程第4 議案第1号、議案第2号（議案説明）、質疑・一般質問	3
○新宮広域連合長	3
○寺島事務管理者	4
○佐藤 潤議員	5
○中畑事務局長	6
○佐藤 潤議員	7
○寺島事務管理者	8
○中畑事務局長	8
閉会宣告	8

平成23年2月18日（金曜日）

第 1 号

平成23年 第1回定例会

西いぶり広域連合議会会議録 第1号

平成23年2月18日(金曜日)

午後 2時00分 開会

午後 2時30分 閉会

○議事日程

- 日程第1 議席の指定
- 日程第2 会議録署名議員の指名
- 日程第3 会期の決定
- 日程第4 議案第1号、議案第2号(質疑・一般質問)

○会議に付した事件

- 1 諸般の報告
- 2 日程第1
- 3 日程第2
- 4 日程第3
- 5 日程4
- 6 委員会付託省略

○出席議員(14名)

議長	14番	我妻 静夫
副議長	15番	大光 巖
	1番	五十嵐 篤雄
	2番	松井 保明
	3番	長内 伸一
	5番	村井 洋一
	6番	木村 辰二
	7番	舘市 弘太
	8番	小泉 勇一
	9番	永沢 真人
	10番	大村 喬俊
	11番	柏木 隆寿
	12番	佐藤 潤
	13番	大友 勇

○欠席議員(1名)

4番 横山 実

○説明員

広域連合長	新宮 正志
副広域連合長	小笠原 春一
副広域連合長	菊谷 秀吉
副広域連合長	工藤 国夫
副広域連合長	山中 漢
副広域連合長	真屋 敏春
事務管理者	寺島 孝征
代表監査委員	豊島 良明
事務局長	中畑 一宏
総務課長	谷沢 康夫
総務課主幹	柴原 寛
共同電算室主幹	宮澤 豊

○事務局出席職員

事務局長	高橋 信幸
議事課長	前田 昭雄
議事係長	小田桐 浩明
議事課主査	佐々木 真美
書記	石橋 英毅
書記	深田 久智

午後 2時00分 開会

○議長(我妻 静夫) ただいまから、平成23年第1回西いぶり広域連合議会定例会を開会

いたします。

直ちに本日の会議を開きます。

諸般の報告をいたします。

最初に、議員の辞職についてであります。豊浦町議会選出の半澤 剛夫議員から平成23年2月7日付をもって議員辞職をしたい旨の届け出が2月4日になされたので、同日付で地方自治法第126条ただし書きの規定により、議長においてこれを許可いたしました。

次に、議員の選出についてであります。新たに豊浦町議会から村井 洋一議員が平成23年2月8日付で選出されております。

次に、総務常任委員の選任についてありますが、委員会条例第4条の規定に基づき、新たに選出されました村井 洋一議員を総務常任委員に指名いたしておりますことをあわせて報告いたします。

続いて、その他の報告をさせます。

高橋事務局長

○議会事務局長(高橋 信幸) 御報告申し上げます。

今回提案されております案件は、広域連合長提案にかかわるもの2件でございます。

次に、地方自治法の規定に基づき、監査委員からお手元に配付のとおり報告がございました。

次に、議案説明のため、広域連合長ほか関係役職員の出席を求めています。

以上でございます。

諸 般 の 報 告

1 西いぶり広域連合議会議員の辞職及び選出について

(1) 辞職 半澤 剛夫 議員

(豊浦町議会 平成23年
2月7日付)

(2) 選出 村井 洋一 議員

(豊浦町議会 平成23年
2月8日付)

2 総務常任委員の選任について

(1) 選任 村井 洋一 議員

(豊浦町議会平成23年2月
8日付)

3 地方自治法第199条第9項の規定に基づき、監査委員から提出のあった事件
定期監査報告について

4 地方自治法第235条の2第3項の規定に基づき、監査委員から提出のあった事件
例月現金出納検査結果報告について(一般会計7~11月分)

上記のとおり報告します。

平成23年2月18日

西いぶり広域連合議会

議 長 我 妻 静 夫

○議長(我妻 静夫) ここで、日程に入ります前に、新たに選出されました村井 洋一議員より自己紹介を受けたいと存じます。

村井 洋一議員

○5番(村井 洋一) ただいま紹介をいただきました豊浦町議会の村井 洋一でございます。

西いぶり広域連合の今まで果たしてきた役割、これは大変大きいものがございます。今後とも、大きな役割を果たさなければならないというふうに思っております。西いぶり広域連合の発展が関係町村の発展にもつながるものというふうに私は確信しております。

まだ新参者でございますけれども、諸先輩方々の御意見を仰ぎながら今後ともこの西いぶり広域連合の役職を全うしたいというふうに思っております。今後ともよろしくお願い申し上げます。あいさつにかえさせていただきます。

よろしく申し上げます。

○議長(我妻 静夫) 日程第1 議席の指定を行います。

このたび、新たに選出されました、村井 洋一議員の議席につきましては、議長から指定いたします。

村井 洋一議員の議席は、5番といたします。

○議長(我妻 静夫) 次は、日程第2 会議録署名議員の指名を行います。

本日の会議録署名議員に、佐藤 潤議員並びに大友 勇議員を指名いたします。

○議長(我妻 静夫) 次は、日程第3 会期の決定を議題といたします。

お諮りいたします。

今定例会の会期は本日1日とすることに異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(我妻 静夫) 異議なしと認めますので、会期は1日と決定いたしました。

○議長(我妻 静夫) 次は、日程第4 議案第1号平成22年度西いぶり広域連合一般会計補正予算(第2号)外1件を一括議題といたします。

議案第1号 平成22年度西いぶり広域連合一般会計補正予算(第2号)

議案第2号 平成23年度西いぶり広域連合一般会計予算

○議長(我妻 静夫) 広域連合長から、提出議案の大綱について説明のため発言を求められておりますので、これを許します。

新宮広域連合長

○広域連合長(新宮 正志)(登壇) 平成23年第1回西いぶり広域連合議会定例会の開会に当たりまして、提出議案の大綱について御説明を申し上げ、御理解と御協力を賜りたいと存じます。

さて、私は母体であります本年4月の室蘭市長選挙に不出馬を表明させていただいたところであります。平成12年3月8日の広域連合設立以来、皆様方の御協力を仰ぎながら11年にわたり、広域連合長としての職務を務めさせていただきましたが、今回が私にとりまして最後の広域連合予算の提案となります。

振り返りますと、ごみ処理に関するダイオキシン対策のため西胆振7市町村による廃棄物広域処理事業にかかわる施設が住民の方々の御理解と御協力のもと、平成15年4月から稼働し、同年12月には余熱利用施設げんき館ペトルとそれからリサイクルプラザが開設され、地域住民の健康増進や環境意識向上に貢献しているところであります。

また、平成18年11月には登別市の御加入をいただき住民記録や税などの行政事務の効率化を目的とした共同電算事務を、さらに平成21年4月からは新たな広域振興事務を追加するなど、スケールメリットを生かした事務事業の拡大を図ってまいりました。効率的な自治体運営を推進する上で広域連合の役割は今後もますます重要になるものと考えており、これまで培ってきた西胆振6市町のきずなをより確かなものにし、定住自立圏と合わせた連携をより強固なものにしていくことを期待するところであります。

このような状況の中で、広域連合の出発点でもあります廃棄物広域処理施設につきましては、公設民営による事業方式を維持していくため管理運営会社への委託料算定に当たりましては、さまざまな角度から検討を行うことが必要であり、今後構成市町と十分協議を進めていくことが重要であると考えております。

次に、ただいま議題となりました平成22年度補正予算及び平成23年度予算の2件ですが、補正予算案は、共同電算の機器等の保守業務委託にかかわる債務負担行為の設定でご

ございます。また平成23年度予算編成に当たりましては、廃棄物処理関係では、ごみ処理量の適正な推計や資源物売払価格の動向、共同電算事務の効率的な運営及び構成市町の負担金の軽減に向けた内部管理経費の圧縮など念頭に行ったところであります。

ただいま上程されました議案2件につきましては、この後事務管理者から説明させていただきますので、よろしくお願いを申し上げます。

最後になりましたが、3期11年間にわたり関係市町議会議員の皆様並びに関係市町長各位の御理解と御協力をいただきましたこと心から深く感謝を申し上げる次第であります。

ありがとうございました。

○議長(我妻 静夫) 寺島事務管理者

○事務管理者(寺島 孝征) それでは各案件につきまして、順次御説明申し上げます。

初めに、議案第1号平成22年度西いぶり広域連合一般会計補正予算(第2号)でございます。

このたびの補正は、平成23年度当初から実施します共同電算に係るサーバー機器等の保守業務委託につきまして債務負担行為の設定を行うおとするものでございます。

第1条におきまして、1ページ下段の第1表にございますが、共同電算機器等保守業務委託で、2,880万円の限度額を設定するものでございます。

次に、議案第2号平成23年度西いぶり広域連合一般会計予算でございます。

平成23年度西いぶり広域連合一般会計予算及び予算説明書の1ページをごらんいただきたいと存じます。

第1条では歳入歳出予算の総額を23億724万1,000円とし、第2条一時借入金では、借り入れの最高額を1億円と定めるものでございます。

それでは、予算の主な内容につきまして歳出

から御説明申し上げます。

10ページをお開きいただきたいと存じます。

第1款議会費では、議員報酬、委員会調査旅費など、議会運営に要する経費308万3,000円を計上してございます。

12ページ、第2款総務費は202万円の計上ございまして、一般管理費では広報西いぶり発行経費や車両維持管理経費などを計上してございます。

次に、18ページの第3款情報処理費では西いぶりデータセンター運営管理経費や共同電算システム運用経費など3億2,058万7,000円を計上してございます。

次に、20ページ第4款ごみ処理費では、7億8,621万4,000円を計上してございまして、中間処理施設運営費は施設運転保守管理業務委託料の見直しなどを行い、6億7,179万円の計上。最終処分場運営費は、管理業務等委託料や漏水検知システム更新経費など5,822万9,000円の計上。

リサイクルプラザ運営費は、管理業務等委託料など5,411万8,000円を計上してございます。

次に、22ページ第5款土木費は、余熱利用施設等運営費として3,917万7,000円を計上してございます。

次に、24ページ第6款公債費では、共同電算システムやごみ処理施設整備に係る地方債の元利償還金など合わせて10億7,765万1,000円を計上してございます。

次に、30ページ第7款職員費は、一般職の給与費や派遣職員の給与費負担金など7,650万9,000円を計上してございます。

なお、この職員費に関連いたしまして、34ページ以降に給与費明細書を掲載してございます。

次に、32ページ、第8款予備費は、前年度と同額の200万円を計上してございます。

以上で歳出を終えまして、次に歳入について御説明申し上げます。

8ページにお戻りいただきたいと存じます。

第1款分担金及び負担金は20億9,989万円の計上で、市町別につきましては説明欄に記載のとおりとなっております。第2款使用料及び手数料ではごみ処分手数料など1億2,437万6,000円を計上。

第3款財産収入では、空き缶、ペットボトルの売り払い収入など3,360万6,000円を計上。

第4款繰越金は、前年度と同額の1,000円を計上。

第5款諸収入では、廃棄物処理施設運営に伴う溶融飛灰等処分費収入など4,936万8,000円を計上してございます。

以上が歳入歳出の概要でございますが、このほかの説明資料といたしまして42ページに歳出予算額の款別及び節別予算調書、44ページに地方債の状況調書、46ページに職員費の目的別予算調書と歳出予算性質別前年度比較表を掲載してございますので、御参照いただきたいと存じます。

以上でございます。

よろしく御審議賜りますようお願いを申し上げます。

○議長（我妻 静夫） 質疑並びに一般質問を行います。

通告がありますので、発言を許します。

佐藤 潤議員

○12番（佐藤 潤）（登壇）平成23年西いぶり広域連合議会第1回定例会の開催に当たり、今定例会に付議されました議案及び広域連合の運営にかかわり、通告に従い順次質問をさせていただきます。

さて、一昨年、政治改革に対する多くの国民の期待を担い政権交代がなされましたが、外交面や内政面において確かな成果をいまだ享受し

ておりません。いま一度国民の負託にこたえるため本格的な予算編成である平成23年度の各種政策にかかわる議論とその実行を通して、国民の信頼を勝ち取っていくことが求められているものと思います。

また、経済・雇用環境においても、超氷河期と呼ばれるような新卒者の就職内定率や景気の踊り場にあると言われるように、雇用面や景気動向についても好転の兆しを感じるようになっておりません。さらに、地方分権や地方主権にかかわる今後の地方自治制度の議論も昨年の中、参議院選挙を受けた衆議院とのねじれ国会の中、審議が停滞し、地方自治体の期待どおりに進んでおりません。

一方、各市町においては自治体運営の健全化のためこれまで同様の行財政改革を進めるとともに、定住自立圏構想という合併に比べ緩やかな手法による新たな広域連携によって地域生活の維持と自立に向けての取り組みを展開しようとしております。

このような動きの中、効率的な行政運営を目的とする広域連合の平成23年度の予算編成方針と前年度との比較における特徴について、まずお伺いいたします。

次に、広域連合の運営にかかわり何点かお聞きいたします。

まず、廃棄物の広域処理事務にかかわり、3点お伺いいたします。

広域ごみ処理施設も稼働後8年目に入り、圏域における日常生活に欠くことのできない基本的な施設としてその目的を十分果たしているものと認識しております。

そこでまず、1点目は、全国に先駆けた公設民営方式による処理事業方式として民間会社による保守管理運営を行っておりますが、会社の主要な収入はごみ処理量に基づく委託料であると思います。

そこで、過去3カ年のごみ処理量及び委託料

の推移についてまずお伺いいたします。

2点目は、委託料の見直しについてであります。そのもととなるごみ量の見直しなどの検討を行っていたと思いますが、平成23年度における対応についてお聞きいたします。

3点目は、運営会社の経営状況でございますが、先般の委員会で平成21年度の営業概要の報告がありました。その中で、会社の収支状況で、計画と比べ大きく乖離している項目として保守管理費の増であると説明がありました。その理由と今後の見通しについてお聞かせください。

次に、本格稼働から3年目に入ります共同電算事務について、お伺いいたします。

共同電算事務については共同化による費用対効果は大きいものと認識しておりますが、その一番の効果は国などの制度創設や改正にかかわるシステムの改修や導入時における経費削減にあると思います。

そこで、平成23年度の予算におけるシステム経費とその内容及び費用対効果について、お伺いいたします。

最後に、広域振興事務についてお伺いいたします。

現在、広域連携の可能性を探るための項目として国保事務など6項目について協議が進められているものと認識しておりますが、この間、定住自立圏構想による新たな広域振興にかかわる取り組みもなされております。こういった動きの中で、調査研究項目となっている項目の進捗状況と特に、消防広域化にかかわる今後の取り組み方や広域化にかかわる課題についてどのように検討しているのか、お聞かせ願いたいと存じます。

以上で質問を終わります。

○議長(我妻 静夫) 中畑事務局長

○事務局長(中畑 一宏) 佐藤議員の御質問に、順次お答えを申し上げます。

最初に、大きな項目の1番目、平成23年度西いぶり広域連合一般会計予算について予算編成方針と前年度との比較における特徴でございますが、編成に当たりましては、廃棄物処理関係では構成市町の負担金の算定の基礎となるごみ処理量の適正な推計や資源物売り払い価格の動向、共同電算関係では、国の制度改正に伴うシステム経費の算定などに留意をしたところでございます。

次に、前年度と比較した主な経費の増減でございますが、情報処理費では住民基本台帳制度の改正に対応したシステム経費の増。また、ごみ処理費では委託料見直しのもととなります消費者物価指数の下落に伴う保守管理委託料の減、公債費では、データセンター建設に係る平成19年度債の元金償還による増などが主なものでございます。

次に、大きな項目2番目の廃棄物の広域処理についてのうち、1点目のごみ量及びごみ処理に係る委託料の推移でございますが、過去3カ年では、ごみ量につきましては、平成19年度が5万3,423トン、平成20年度が5万1,513トン、平成21年度が5万1,169トンとなっており、運転を開始いたしました平成15年度の6万4,163トンと比べ平成21年度では1万2,994トン、率にして20.3%減少してございます。

次に、委託料の推移でございますが、平成19年度が6億3,064万1,000円、平成20年度が6億2,726万3,000円、平成21年度は、委託料単価の見直しの基本であります消費者物価指数がこの時は上昇してございまして、6億3,862万円となっております。

次に、2点目の委託料の見直しについてでございますが、現行の委託料のもととなります計画ごみ処理量と実績ごみ処理量との乖離を踏まえ、構成市町と鋭意検討を行ってまいりました。この検討を重ねる中で現在の事業方式を維持する

ため、管理運営会社の収支状況をも踏まえたより広い範囲での検討も必要であるとの判断から、この協議の推移を踏まえ、平成23年度については、現行の委託料算定方式による対応といたしたところでございます。

次に、3点目の管理運営会社の経営状況についてであります。保守管理費に占める経費の多くは設備の安定稼働のもととなる主要な機器類に係る補修等でありまして、これまでのきめ細かなメンテナンスにより大きなトラブルの防止になってございます。

また、今後の見通しでございますが、処理における不測の事態を未然に防ぐためこれまでの実績をベースに検討を行っているとお聞きいたしてございます。

次に、大きな項目の3番目、共同電算事業についてでございますが、23年度におけるシステム改修は平成24年7月までに施行される住民基本台帳法の一部を改正する法律に合わせた変更が主なものでありまして、1つは、これまでの外国人登録法を廃止し市町村での管理を住民基本台帳で一本化し、新たに在留カード、特別永住者証明書を発行すること。2つは、住基カードについて、他市町村へ転出した場合でも継続して利用が可能となること。3つは、戸籍の附票記載事項を住基ネット経由で本籍地市町村に送信することができることなどに対応するような改修でございます。

共同化による費用対効果であります。住基システムとリンクした他のシステムとの修正費用を含め4団体で4,620万円の予算を計上してございまして、制度改正内容を考えますと共同電算事業のスケールメリットが生かされているものと考えてございます。

次に、大きな項目の4番目、広域振興事務についての調査研究項目の進捗状況でございますが、職員の共同研修事務につきましては、定住自立圏の手法による事業として取り組むことと

し、学校給食につきましては、地産地消の意義を踏まえ、各市町が給食メニューの中でそれぞれ対応することといたしました。このほか、介護保険に係る要介護認定事務、国民健康保険及び生活保護事務のレセプト点検事務につきましては、国などの動向とも関係することから、継続して検討を行っていくこととしてございます。

次に、消防広域化にかかわる今後の進め方及び課題についてでございますが、国や北海道の推進計画に沿って平成25年度からの広域化を目途に西胆振3消防職員を中心に課題別に4つの部会を設け、協議を進めてございます。今後これら各部会の議論をもとにした広域化の基本となります消防広域化運営計画の策定に努め、広域化への移行準備につなげてまいりたいと存じます。また、これらの協議の進捗にあわせ広域連合における各級会議での議論や議会等への報告、先進団体の取り組み事例の把握などを行う中であわせて鋭意進めてまいりたいと存じます。

また、広域化にかかわる課題としては、職員の身分、処遇や通信指令のあり方、予防事務における本部と署所との分担などについて検討しているところでございます。

以上でございます。

○議長(我妻 静夫) 佐藤 潤議員

○12番(佐藤 潤) 再質問は自席から行いたいと思いますので、よろしく願いいたします。

簡潔に2点お伺いいたします。

1点目は、廃棄物処理にかかわる運営会社の経営状況についての答弁がありました。御案内のように営業概要で株主会社との関係や内部努力によって収支のバランスを図っているということで、株主会社も非常に苦慮をしているようなお話も聞いております。ごみ量の減や機器類の保守管理経費の動向などから、今後も大変厳しい経営環境にあるということで認識をしてい

るところでございます。

今答弁がありましたけれども、広域連合として今後やはり具体的な早期の対策が必要でないかというふうに思いますので、その辺についての考え方について、再度お聞かせ願いたいと思います。

2点目は、広域振興事務のうち消防の広域化について今答弁がありました。消防の広域化は住民へのサービス低下につながるものではなく、むしろ現場職員の強化がその主眼の一つと認識しておりますが、地域住民の安全・安心にかかわる事務であることから、住民に対する広域化への理解などどう進めていくのか、具体的な対策があればお聞かせ願いたいと思います。

以上でございます。

○議長(我妻 静夫) 寺島事務管理者

○事務管理者(寺島 孝征) 佐藤議員の再質問の1点目、運営会社の今後の経営環境に対する対応についての再質問に、私のほうからお答えを申し上げます。

運営会社におきましては計画ごみ処理量と実績ごみ処理量の乖離に加えまして、ごみ処理量の減少傾向による委託料への影響あるいは円滑な施設稼働のための維持経費の増などによりまして、会社の経営というお話にありましたように、大変厳しい状況にあるものと認識をいたしているところであります。

ごみ処理施設につきましては、住民福祉と生活環境の向上に欠くことのできない社会基盤施設の一つでございます。この施設の安定した運営は、住民生活を守る上でも非常に大切なものでもございます。したがって、今後とも、ごみ処理に支障を来さないための補修経費とそれから施設の延命化を踏まえた経営見直しにつきまして、株主会社あるいは運営会社からお聞きをいたしまして、今後とも構成市町と十分協議をさせていただきますとともに、またこのような運営状況につきましても調査、把握をした

上で広域連合として対応を検討してまいりたいというふうに考えてございます。

以上でございます。

○議長(我妻 静夫) 中畑事務局長

○事務局長(中畑 一宏) 2点目の消防の広域化にかかわる住民対応でございますが、消防本部の広域化により署所等の体制強化による安全・安心のより一層の確保を目指して、今後、広域化運営計画というものが作成されます。その運営計画、あるいは国などの資料というものを活用して各市町及び広域連合の広報紙さらにはホームページを通じた情報提供に努め、住民の方々に広域化のメリットについて十分御理解いただくよう今後努めてまいりたいと存じます。

以上でございます。

○議長(我妻 静夫) これをもちまして質疑並びに一般質問を終了いたします。

お諮りいたします。

ただいま議題となっております案件は、委員会付託を省略することに異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(我妻 静夫) 異議なしと認めますので、そのように決定いたしました。

お諮りいたします。

ただいま議題となっております案件は、原案のとおり可決することに異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(我妻 静夫) 異議なしと認めますので、そのように決定いたしました。

○議長(我妻 静夫) 以上で、今定例会に提案されました案件の審議は全部終了いたしました。

これもちまして、平成23年第1回西いぶり広域連合議会定例会を閉会いたします。

午後 2時30分 閉会

上記会議の記録に相違ないことを証するため、
ここに署名する。

議 長 我 妻 静 夫

署 名 議 員 佐 藤 潤

署 名 議 員 大 友 勇